１０	１２番　　河　野　　龍　二　　議員 ①　高田南土地区画整理事業について 　令和２年度決算審査において、高田南土地区画整理事業の現地の調査などを産業文教常任委員会として行った。 　審査の中で、進捗状況や事業計画の変更などの質疑がだされた。 進捗状況では、令和６年度末完成ができるのかの問いに、今後の事業内容が一括発注中心となるので進捗が進み、完成はできるとの説明だった。 　事業計画変更では変更はあるのかの問いに、あと一度はあると思うとの答弁だった。 　以上の内容を踏まえ以下の質問を行う。 （１）令和６年度末完成までの、各年度の事業計画の詳細はどうなっているのか。 （２）変更が必要な事業計画の内容はどのようなものか。 （３）事業計画が行われた場合、地権者などへの周知などはどのように行うのか。 （４）仮に令和６年度末の完成ができない場合の問題は無いのか。 ②　地区コミュニティ組織について 　地区コミュニティは、高田地区が昭和４７年に自治省に指定され、平成１４年に「生き活きコミュニティ振興プラン２１」事業で、各コミュニティが組織されてきた。 　期待される役割として、自治会の垣根を越えての取り組み、情報の共有化、地区内の問題解決などがあげられている。 　先日、コミュニティ役員会において、補助金の返還が求められて聞いた。コロナ禍により行事ができていないからの理由と聞いたが、なぜ返還を求めてきたのかその根拠を伺いたい。 　確かに行事の中止などがあり、通常よりは執行残が多くはなると思うが、決して潤沢な予算ではないと思う。組織の運営は会員（自治会世帯）からの会費と町からの９０万円の地域振興補助金が主な運営費で、活動する役員や会員はボランティアであり、決算に出てこない出費を多くあると思う。 　コミュニティからは助成金の増額の要望も出された経緯があり、今回の補助金の返還は町のコミュニティ組織に対する期待や役割をどのように考えているのか疑問を感じた。 　今後の地区コミュニティの役割と期待、運営内容について町の考えを伺う。